

口頭発表 第1日 (6月4日 (土))

開始	終了	頁	A会場 [奈良大学講堂]	9:30 ~ 17:30
8:45			会場受付開始	
9:00	9:20		開会挨拶	
材質・技法	9:20	9:38	A-01	長福寺本堂曼荼羅柱彩色の蛍光 X 線分析 ○青木智史 (奈良教育大学)、池田藍子 (奈良県教育委員会文化財保存事務所)、田中希和子 (同)、山田宏 (同)
	9:38	9:56	A-02	正倉院宝物の撥鏝に用いられた色料の分析 ○中村力也 (宮内庁正倉院事務所)、成瀬正和 (同)
	9:56	10:14	A-03	キジル千仏洞壁画の彩色材料と技法：69窟、167窟、224窟 ○谷口陽子 (筑波大学)、室伏麻衣 (東京藝術大学大学院)、李博 (亀茲研究院)
	10:14	10:32	A-04	可搬型分析装置を用いたアムステルダム国立美術館に所蔵された近世西洋絵画の顔料分析 ○平山愛里1、和泉亜理沙1、阿部善也1、Annelies van Loon2、Frederik Vanmeert3、Petria Noble2、Koen Janssens3、中井 泉1 (1 東京理科大学理学部 2 アムステルダム国立美術館 3 アントワープ大学)
10:32	10:40		休憩	
材質・技法	10:40	10:58	A-05	ELISA (酵素結合免疫吸着法) を用いた文化財中の膠着剤の検出 ○高嶋美穂 (国立西洋美術館) / 谷口陽子 (筑波大学)
	10:58	11:16	A-06	韓国金海大成洞 88 号墳より出土した漆製品の調査 ○岡田文男 (京都造形芸術大学)、林志暎 (釜山大学校)、沈載龍 (大成洞古墳博物館)
	11:16	11:34	A-07	千葉県草刈遺跡出土のパイプ状ベンガラの内面微細構造解析による由来の解明 ○田中真奈子 (東京藝術大学)、永田和宏 (東京工業大学)、寺田靖子 (高輝度光科学研究センター)、三留正則 (物質・材料研究機構)、長谷川琴音 (同)、上條朝宏 (東京都埋蔵文化財センター)
	11:34	11:52	A-08	遺跡の磁気探査における磁化研究の重要性 ○酒井英男 (富山大学)、金田明大 (奈良文化財研究所)、宇野隆夫 (帝塚山大学)
11:52	12:10	A-09	ハギア・ソフィア大聖堂における飛来海塩粒子量の調査 ○佐々木淑美 (関西大学国際文化財・文化研究センター、東北芸術工科大学)、小椋大輔 (京都大学)、安福勝 (近畿大学)、水谷悦子 (京都大学)、石崎武志 (東北芸術工科大学)	
12:10	13:10		休憩 (企業セミナー)	
13:10	14:10		ポスター会場 (体育館) にて、ポスター解説	
材質・技法	14:10	14:38	A-10	飛鳥寺塔心礎埋納物の考古学的研究 ○田村朋美 (奈良文化財研究所)、石橋茂登 (同)、大賀克彦 (奈良女子大学)
	14:38	14:56	A-11	「白瑠璃碗」は何処で作られたかー博物館資料切子ガラス碗の非破壊化学組成分析からー ○阿部善也 (東京理科大学理学部)、四角隆二 (岡山市立オリエント美術館)、巽 善信 (天理参考館)、中井 泉 (東京理科大学理学部)、St John Simpson St John Simpson St John Simpson (大英博物館)
	14:56	15:14	A-12	古墳時代の馬の利用と飼育 ○丸山真史 (東海大学)、覚張隆史 (金沢大学)、青柳泰介 (奈良県立橿原考古学研究所)
15:14	15:22		休憩	
古環境	15:22	15:40	A-13	縄文時代から弥生時代の出土炭化鱗茎同定の試み ○佐々木由香 (パレオ・ラボ)、米田恭子 (同)、小林和貴 (東北大学植物園)
	15:40	15:58	A-14	糞便堆積と糞石の分析研究 ○金原正明 (国立大学法人奈良教育大学)、金原正子 (一般社団法人文化財科学研究所)
	15:58	16:16	A-15	節から見た木質遺物 ○福田さよ子 (奈良県立橿原考古学研究所)、青柳泰介 (同)、鈴木裕明 (同)
16:16	16:25		休憩	
16:25	17:30		特別セッション 『奈良から発信する文化財科学』 講演者：西山要一 (奈良大学名誉教授) 成瀬正和 (元宮内庁正倉院事務所)	
17:30	18:30		ワーキンググループ	
18:30	20:00		懇親会 奈良大学学生食堂	

口頭発表 第1日(6月4日(土))

開始	終了	頁	B会場 [奈良大学 102 教室]	9:30 ~ 17:30
8:45				
9:00	9:20		A会場にて開会挨拶	
年代測定	9:20	9:38	B-01	鈴木政吉工場製および手工品ヴァイオリンの非破壊年輪年代測定と産地推定 ○大河内隆之(奈良文化財研究所)、井上さつき(愛知県立芸術大学)、桐山建志(愛知県立芸術大学)、安江恒(信州大学)
	9:38	9:56	B-02	酸素同位体比年輪年代測定のための劣化した考古材からのセルロース抽出法の開発 ○中塚 武(総合地球環境学研究所)、佐野雅規(同)、李 貞(同)
	9:56	10:14	B-03	動物骨の放射性炭素年代と安定同位体組成を用いた水稻稲作安定期の北陸地方の遺跡環境復元—八日市地方遺跡を例として ○宮田佳樹(金沢大学)、南雅代(名古屋大学)、下濱貴子(小松市埋文センター)、長尾誠也(金沢大学)、多田洋平(地球研)、佐野雅規(同)、中塚武(同)、中村俊夫(同)
	10:14	10:32	B-04	加速器質量分析による日本刀の放射性炭素年代測定 ○中村俊夫(名古屋大学)、江藤孝一(福岡県刀研ぎ師)、藤本隆雄(オランダ出島屋)
10:32	10:40		休憩	
保存科学	10:40	10:58	B-05	雨水の浸透がハギア・ソフィア大聖堂の壁画の劣化に及ぼす影響と対策 ○水谷悦子(京都大学大学院工学研究科)、小椋大輔(京都大学大学院工学研究科)、石崎武志(東北芸術工科大学)、安福勝(近畿大学建築学部)、佐々木淑美(関西大学国際文化財・文化研究センター、東北芸術工科大学)
	10:58	11:16	B-06	平城宮跡遺構展示館における塩析出抑制を目的とした保存環境の検討 ○脇谷草一郎(奈良文化財研究所)、桑原範好(京都大学大学院) 鈴木修一(京都大学大学院)、小椋大輔(京都大学大学院) 高妻洋成(奈良文化財研究所)
	11:16	11:34	B-07	大分市元町石仏における塩類風化の現状と要因の検討(その2) ○桐山 京子(京都大学)、脇谷 草一郎(奈良文化財研究所)、高取伸光(京都大学)、小椋大輔(京都大学)、安福勝(近畿大学)、高妻 洋成(奈良文化財研究所)
	11:34	11:52	B-08	釜尾古墳における装飾壁画の保存施設の改修方法の検討 芥子円香(京都大学)、○小椋大輔(同)、鈴木修一(同)、坂口圭太郎(熊本県立装飾古墳館)、福田匡朗(同)、三好栄太郎(熊本市文化振興課)
	11:52	12:10	B-09	テラヘルツ波イメージング技術による高松塚古墳壁画の層構造調査 ○犬塚将英(東京文化財研究所)、高妻洋成(奈良文化財研究所)、杉岡奈穂子(奈良文化財研究所)、福永香(情報通信研究機構)、建石徹(文化庁)
12:10	13:10		休憩(企業セミナー)	
13:10	14:10		ポスター会場(体育館)にて、ポスター解説	
保存科学	14:10	14:38	B-10	出土木製遺物の一時保管容器における水質の推移 ○松田 和貴(奈良文化財研究所)、脇谷 草一郎(同)、高妻 洋成(同)
	14:38	14:56	B-11	水蒸気移動による出土鉄製文化財の新規脱塩法の開発(その1) 塩化鉄(II)の潮解過程における最適条件の検討 ○柳田明進(奈良県立橿原考古学研究所)、脇谷草一郎(奈良文化財研究所)、高妻洋成(奈良文化財研究所)
	14:56	15:14	B-12	X線CTスキャナの活用による遺跡で発見される豊富な遺物情報を得る調査(Ⅲ) 一福岡県古賀市船原古墳遺物埋納坑の埋納方法復元とガラス製辻金具の発見— ○加藤和哉、小林啓(九州歴史資料館)、今津節生(九州国立博物館)、岩橋由季(九州大学大学院)、輪田慧(合同会社2bit)、村上浩明(株式会社とっぺん) 森下靖士、甲斐孝司、横田義章(古賀市教育委員会)
15:14	15:22		休憩	
保存科学	15:22	15:40	B-13	文化財保存のためのアバタイトと光触媒の複合材料の開発 ○野浪亨(中京大学)、尾上英彰(同)、玉澤健吾(同)、吉島成美(同)、小平重倫(中京大学人工知能高等研究所)
	15:40	15:58	B-14	アンコール遺跡バイヨン寺院浮き彫りの保存材料に関する研究(4)~選定処理剤の現場施工について~ ○松井敏也(筑波大学)、沢田正昭(東北芸術工科大学)、井上才八(アイ・エヌ・テクニカルラボ)、海老沢孝雄(ゴエトス)、河崎衣美(筑波大学)、跡見洋祐(奈良文化財研究所)
	15:58	16:16	B-15	土器復元のための合成樹脂の接着剤の温度による劣化研究—Cellulose nitrate系 樹脂を中心に ○張 誠允(韓国・国立文化財研究所)、南 秉直(韓国・国立文化財研究所)
16:16	16:25		休憩	
16:25	17:30		A会場にて、特別セッション	
17:30	18:30		ワーキンググループ	
18:30	20:00		懇親会 奈良大学学生食堂	

ポスター発表・関連行事 大会第1日(6月4日(土))

開始	終了	ポスター	ワーキンググループ	企業セミナー	機器展示
8:45					
9:00	9:20				
9:20	9:38				
9:38	9:56				
9:56	10:14	ポスター展示			機器展示
10:14	10:32				(株)三ツワフロンテック トーリ・ハン(株) 富士シリシア(株) (株)サビア 光明理化学工業(株) (株)ニコン・トリンブル 大塚オーミ陶業(株) エクスロン・インターナショナル(株) 三恒商事(株) 菱江化学(株) プルカー・オプティクス(株) (公)高輝度光科学研究センター (株)東陽テクニカ (順不同)
10:32	10:40				
10:40	10:58				
10:58	11:16				
11:16	11:34				
11:34	11:52				
11:52	12:10				
12:10	13:10			企業セミナー	
13:10	14:10	ポスター解説		(株)三ツワフロンテック (公)高輝度光科学研究センター	
14:10	14:38				
14:38	14:56				
14:56	15:14				
15:14	15:22				
15:22	15:40				
15:40	15:58				
15:58	16:16				
16:16	16:25			彩色材料分析ワーキンググループ 連絡責任者：早川泰弘 トレハロース含浸処理実践研究会 連絡責任者：伊藤幸司 石造文化財の保存修復ワーキンググループ 連絡責任者：石崎武志 文化財科学への放射光応用推進連絡会 連絡責任者：中井 泉 文化財CTワーキング 連絡責任者：鳥越俊行	
16:25	17:30				
17:30	18:30		ワーキンググループ		
18:30	20:00				

口頭発表 第2日 (6月5日 (日))

開始	終了	頁	A会場 [奈良大学講堂]	9:30 ~ 17:30
文化財科学一般	9:30	9:48	A-16	西都原古墳群出土甲冑に残された染織品の材料学的研究 ○奥山誠義 (奈良県立橿原考古学研究所)、吉村和昭 (奈良県立橿原考古学研究所)、東 憲章 (宮城県立西都原考古博物館)
	9:48	10:06	A-17	エックス線を用いた古墳出土象嵌刀装具の技法調査 ○杉崎佐保恵 (福島県立博物館)、高橋満 (同)、松田隆嗣 (同)
	10:06	10:24	A-18	古代日韓における出土象嵌遺物の製作技法 林志暎 (韓国釜山大学校)
	10:24	10:42	A-19	東大寺金堂出土金細荘大刀の復元製作による製作技術の解明 ○塚本敏夫 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、初村武寛 (同)、岡田一郎 (同)、坂東俊彦 (東大寺)、永井洋之 (同)
	10:42	11:00	A-20	X線 CT 調査による古墳時代甲冑の分析 ○橋本達也 (鹿児島大学)、今津節生 (九州国立博物館)、河野一隆 (九州国立博物館)、赤田昌倫 (九州国立博物館)、岸本圭 (九州国立博物館)、小嶋篤 (九州国立博物館)
11:00	12:10	日本文化財科学会 2016 年度 総会		
12:10	13:10	休憩 (企業セミナー)		
13:10	14:10	ポスター会場 (体育館) にて、ポスター解説		
文化財科学一般	14:10	14:28	A-21	航空レーザ計測による大型古墳の形状把握 ○吉川由里子 (アジア航測株式会社)、深澤敦仁 (群馬県教育委員会文化財保護課)、右島和夫 (古墳総合調査指導委員会)、押野博仁 (アジア航測株式会社)、藤井紀綱 (アジア航測株式会社)
	14:28	14:46	A-22	SfM/MVS を用いた島内 139 号地下式横穴墓出土状況の計測 ○金田明大 (奈文研)、橋本達也 (鹿児島大学)、中野和浩 (えびの市教育委員会)、東憲章 (西都原考古学博物館)、ナワビ矢麻 (早稲田大学大学院)
	14:46	15:04	A-23	竪穴建物の焼却と覆土での火災き行為の理由 小林正史 (北陸学院大学)
15:04	15:10	休憩		
文化財科学一般	15:10	15:28	A-24	ロシア古金属器時代の土器付着物にみられる C4 植物の影響 ○國木田大 (東京大学)、福田正宏 (九州大学)、遠藤英子 (明治大学)、オクサナ・ヤンシナ (ロシア科学アカデミー)、ヴァレリー・デリュエギン (極東技術大学)、マクシム・ゴルシュコフ (ハバロフスク地方郷土誌博物館)、エカテリーナ・シャポワロワ (ハバロフスク地方郷土誌博物館)
	15:28	15:46	A-25	近世大坂城・城下町より出土したメロン種子の形状および DNA 分析 ○田中克典 (弘前大学人文学部)、大庭重信 (大阪文化財研究所)、加藤鎌司 (岡山大学大学院環境生命科学研究所)
	15:46	16:04	A-26	岡山県勝負砂古墳の石室・棺に用いられた木材樹種同定 ○片山健太郎 (京都大学)、岡田文男 (京都造形芸術大学)、松木武彦 (国立歴史民俗博物館)、西原和代 (京都大学)
	16:04	16:22	A-27	蛍光寿命測定 of 文化財材料への応用に関する基礎研究 3 ○佐々木良子 (京都工芸繊維大学)、吉田直人 (東京文化財研究所)、佐々木健 (京都工芸繊維大学)
	16:22	16:40	A-28	「2015 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 奈良」の成果と、東アジア文化遺産保存学会の活動 ○西浦忠輝 (国士舘大学)、沢田正昭 (東北芸術工科大学)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)
16:40	16:50	閉会挨拶		

口頭発表 第2日 (6月5日 (日))

開始	終了	頁	B会場 [奈良大学 102 教室]	9:30 ~ 17:30
探査	9:30	9:48	B-16	チャルチュアバ遺跡群カサ・ブランカ地区における地中レーダ探査 ○野村成宏 (株式会社田中地質コンサルタント)、田中謙次 (同)、伊藤伸幸 (名古屋大学)
	9:48	10:06	B-17	鬼ヶ浦横穴墓群の地中レーダ探査 ○水永秀樹 (九州大学)、田中俊昭 (同)、池田啓介 (同)
	10:06	10:24	B-18	壁面からの探査の有用性と土橋での研究例 ○泉吉紀 (富山大学)、酒井英男 (富山大学)、中埜貴元 (国土地理院)、中村和之 (函館工業高等専門学校)
	10:24	10:42	B-19	出雲大社の勢溜の鳥居の柱の超音波探査 ○足立和成 (山形大学)、柳田裕隆 (山形大学)、高田一樹 (山形大学)、吉川遼太郎 (山形大学)、武内貴裕 (山形大学)、武田雄大 (山形大学)、倉林和希 (山形大学)、渡辺裕二 (拓殖大学)
	10:42	11:00	B-20	エジプト・ハルガオアシス・アルザヤーン神殿周辺の時間領域電磁誘導探査 (TDEM) による地下構造推定 ○亀井宏行 (東京工業大学)、渡邊真紀子 (首都大学東京)、ABBAS MOHAMED ABBAS (National Research Institute of Astronomy and Geophysics, Egypt)
11:00	12:10		A会場にて総会	
12:10	13:10		休憩 (企業セミナー)	
13:10	14:10		ポスター会場 (体育館) にて、ポスター解説	
保存科学	14:10	14:28	B-21	ミュオンラジオグラフィーによる西乗鞍古墳埋葬施設の研究 ○石黒勝己 (奈良県立橿原考古学研究所)、西藤清秀 (奈良県立橿原考古学研究所)、毛登優貴 (名古屋大学理学研究科 F 研究室)、石田大輔 (天理市教育委員会)
	14:28	14:46	B-22	被災動物標本データベースを用いたマッチング作業による博物館台帳の再構築 —陸前高田市立博物館所蔵動物遺存体を中心として— ○富岡直人 (岡山理科大学)、熊谷賢 (陸前高田市立博物館)、江川達也 (岡山理科大学)
	14:46	15:04	B23	クメール遺跡から採取された鉄スラグおよび鉄鉱石の化学組成から推定される鉄鉱石の供給源 ○内田悦生 (早稲田大学)、村杉元規 (早稲田大学)、黒田彩香 (早稲田大学)
15:04	15:10		休憩	
産地	15:10	15:28	B-24	長野市宮崎遺跡出土の縄文時代玉製品の石材産地 ○大坪志子 (熊本大学)、妹尾一樹 (立命館大学)、矢野健一 (立命館大学)
	15:28	15:46	B-25	XRF、ESR 法による宮崎県・伝持田古墳群出土玉類の産地分析 ○薬科哲男 (遺物材料研究所)、田村朋美 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (同)、青木政幸 (辰馬考古資料館)、上原真人 (同)
	15:46	16:04	B-26	金山産サマカイトの海を越えた流通はいつからはじまったのか? ○朝井琢也 (同志社大学大学院)、上峯篤史 (京都大学)
	16:04	16:22	B-27	同位体分析を組み合わせた遺跡より出土した辰砂鉱石の産地推定 ○南 武志 (近畿大学)、高橋和也 (理化学研究所)、豊 遙秋 (東京大学総合研究博物館)、中野 咲 (橿原考古学研究所)、奥山誠義 (同)
	16:22	16:40	B28	沖縄県久米島のグスクにおける考古地磁気研究 ○菅頭 明日香 (富山大学、青山学院大学)、酒井英男 (富山大学)

ポスター発表・関連行事 大会第2日（6月5日（日））

開始	終了	ポスター	ワーキンググループ	企業セミナー	機器展示
9:30	9:48				機器展示
9:48	10:06				機器展示
10:06	10:24				機器展示
10:24	10:42				機器展示
10:42	11:00				機器展示
11:00	12:10				機器展示
12:10	13:10			企業セミナー	機器展示
13:10	14:10	ポスター解説		（株）東陽テクニカ 大塚オーミ陶業（株）	機器展示
14:10	14:28				機器展示
14:28	14:46				機器展示
14:46	15:04				機器展示
15:04	15:10	ポスター撤去			機器展示
15:10	15:28				機器展示
15:28	15:46				機器展示
15:46	16:04				機器展示
16:04	16:22				機器展示撤収
16:22	16:40				機器展示撤収
16:40	16:50				機器展示撤収
16:50	17:40		ワーキンググループ		機器展示撤収

東アジア文化遺産保存グループ 連絡責任者：西浦忠輝
文化財レスキューを考える 連絡責任者：富岡直人

ポスター発表（第1日・第2日）

ポスター会場 [体育館] 9:30 ~ 17:30

頁

発表題目 発表者 (○講演者)

年代測定	P-1	AMS14C年代測定による縄紋竪穴住居の埋没状況 小林謙一 (中央大学)
	P-2	大河内薬師堂の14C年代調査 ○中尾七重 (武蔵大学)、坂本稔 (国立歴史民俗博物館)、日塔和彦 (東京藝術大学)
	P-3	年輪年代調査に基づく宝城坊厨子の造営年代に関する研究 ○大河内隆之 (奈良文化財研究所)、大野敏 (横浜国立大学、関口欣也 (横浜国立大学名誉教授))
	P-4	光ルミネッセンス法を用いた地表面に露出する先史遺構の年代推定の可能性 ○下岡順直 (立正大)、藤井純夫 (金沢大)、足立拓朗 (金沢大)
	P-5	大島2遺跡の放射性炭素年代測定および土器附着物を用いた食性復元 ○國木田大 (東京大学)、熊木俊朗 (東京大学)、佐野雄三 (北海道大学)、守屋亮 (東京大学)、山田哲 (北見市教育委員会)
	P-6	平等院阿彌陀堂遺構材の調査—年代測定について— ○坂本稔 (国立歴史民俗博物館)、光谷拓実 (奈良文化財研究所)、中塚武 (総合地球環境学研究所)、横山操 (京都大学)、鳴海祥博、太田亜希、田中正流、神居文彰 (宗教法人平等院)
	P-7	日本産ツガ属の年輪年代測定 (その9) —これまでに収集したデータの俯瞰的検討— 藤井裕之 (奈良文化財研究所)
古環境	P-8	千葉県君津市・鴨川市における炭窯跡の分布と立地 ○江口誠一 (日本大学)、金井敬宏 (同)、當山啓介 (東京大学)
	P-9	イネプラント・オパール中に内在する遺伝情報抽出手法構築に向けた基礎的研究 (第2報) ○宇田津徹朗 (宮崎大学)、田中克典 (弘前大学)、丹羽里菜 (宮崎大学)
	P-10	良渚遺跡群山地区における水田遺構探査 ○宇田津徹朗 (宮崎大学)、田崎博之 (愛媛大学)、中村慎一 (金沢大学)、浦谷綾香 (宮崎大学)、劉斌 (浙江省文物考古研究所)、王寧遠 (同)、鄭雲飛 (同)
	P-11	偽石器はどうしてできたのか? ○上峯篤史 (京都大学)
	P-12	東名遺跡 (縄文時代早期) における環境変遷と生業 ○金原正明 (奈良教育大学)、西田巖 (佐賀市教育委員会)、金原美奈子 (文化財科学研究所)、渡邊英明 (文化財科学研究所)
材質・技法	P-13	福岡県古賀市船原古墳遺物埋納坑出土馬骨の構造と技法に係る研究 ○小林啓 (九州歴史資料館)、加藤和 (同)、今津節生 (九州国立博物館)、森下靖士 (古賀市教育委員会)、甲斐孝司 (同)、岩橋由紀 (同)、横田義障 (同)
	P-14	終末期古墳における目地漆喰使用箇所を検討 ○朽津信明 (東京文化財研究所)、前川佳文 (東京文化財研究所)
	P-15	後期・終末期古墳における目地材料の骨材について ○前川佳文 (東京文化財研究所)、朽津信明 (同)
	P-16	繊維遺物鑑別のための基礎研究—国内各産地の大麻繊維の未処理・人工炭化・人工劣化の比較— ○伊藤美香 (昭和女子大学)、小原奈津子 (昭和女子大学)
	P-17	麻類等の植物繊維の生体皴物による鑑別 石川莉英 (昭和女子大学)、伊藤美香 (同)、○小原奈津子 (同)
	P-18	非破壊オンサイト分析による古代エジプト銅赤ガラスの製法および変遷の解明 ○日高遥香1 阿部善也1、中井 泉1、菊川 匡2、四角隆二3、高橋寿光4、河合 望5、吉村 作治4 (1: 東京理科大学・理学部、2: 古代エジプト美術館、3: 岡山市立オリエンタル美術館、4: 東日本国際大学、5: 早稲田大学・紅葉研究所)
	P-19	非破壊オンサイト分析によるエジプト、コンスウエムヘブ墓の壁画顔料の同定 ○扇谷依李 (東京理科大学・理学部)、阿部善也 (同)、日高遥香 (同)、中井 泉 (同)、高橋 寿光 (東日本国際大学)、河合 望 (早稲田大学・高等研究所)、近藤二郎 (早稲田大学・文学学術院)、吉村作治 (東日本国際大学)
	P-20	エミール・ガレのガラス作品の製法に関する科学的考察 ○和泉亜理沙1、阿部善也1、中井 泉1、小林宏子2、池田まゆみ2 (1 東京理科大学 理学部、2 北澤美術館)

P-21	サントリー美術館所蔵 重要文化財四季花鳥図屏風の彩色材料調査 ○早川泰弘 (東京文化財研究所)、犬塚将英 (同)、城野誠治 (同)
P-22	愛知県三河地域の古墳時代後期のガラス小玉の調査 ○堀木真美子 (愛知県埋蔵文化財センター)、鈴木恵介 (同)
P-23	鷲ノ森遺跡出土金属製品に関する検討 清水梨代 (和歌山市教育委員会)
P-24	古代埴の焼成温度推定のための鉱物学的アプローチ ○張 誠允 (韓国・国立文化財研究所)、李 讚熙 (韓国・国立文化財研究所)
P-25	中国戦国時代の青銅剣に対するX線CT調査 ○鳥越俊行 (奈良国立博物館)、廣川守 (泉屋博物館)、今津節生 (九州国立博物館)、赤田昌倫 (同)、大江克己 (奈良国立博物館)
P-26	総持寺祖院における樹種ならびに年代調査 ○田鶴 (水野) 寿弥子 (京大生存研)、杉山淳司 (同)
P-27	古代ジョージアにおける銅合金利用の変遷 ○藤澤明 (帝京大学)、NINO KEBULADZE (Georgian National Museum)、NINO KALANDADZE (同)
P-28	トルコ、カマン・カレホユック遺跡出土彩文土器に使用された黒/褐色顔料の非破壊分析による科学的分類および相関 ○大塚晶絵 (東京理科大学・理学部)、阿部善也 (同) 中井泉 (同)、松村公仁 (アナトリア考古学研究所)、大村幸弘 (同)
P-29	窯焼成技術にともなう胎土の特質—陶器須恵器と韓国陶質土器の蛍光X線分析・顕微鏡分析を通じて— ○鐘ヶ江賢二 (鹿児島国際大学)、長友朋子 (大阪大谷大学)、棟上俊二 (福岡教育大学)、岡戸哲紀 (大阪府文化財センター)、河承哲 (慶南発展研究院)
P-30	朝鮮刊本の微細表面粗さと3D形状計測 Kim Heakyoung、○岡田至弘 (龍谷大学理工学研究科)、江南和幸
P-31	東日本の前期古墳出土丹塗土器に採用されたベンガラの地域性に関する研究 ○志賀智史 (九州国立博物館)
P-32	豊田市高橋遺跡における赤色顔料の利用について ○竹原弘展 (パレオ・ラボ)、長田友也 (中部大学)、中村賢太郎 (パレオ・ラボ)
P-33	鑄造復元における 鑄造復元における製作技法の検討—茨木市指定文化財キリシタン遺物メダイの鑄造復元を例として— ○西村あかね 1、撫養健治 1、小泉武寛 2、小泉裕司 2、魚島純一 3 (1 株式会社スタジオ三十三、2 和銅寛、3 奈良大学)、
P-34	X線CT スキャナを用いた国宝「初音の調度」見台の構造調査 ○赤田昌倫 (九州国立博物館)、吉川美穂 (徳川美術館)、川畑憲子 (九州国立博物館)、今津節生 (奈良大学)
P-35	土井ヶ浜遺跡出土 124 号人骨の X線 CT による非破壊調査 ○赤田昌倫 (九州国立博物館)、大藪由美子 (土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)、高椋浩史 (土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)、田中麻美 (九州国立博物館)、今津節生 (奈良大学)
P-36	ハンドヘルド蛍光X線分析装置による縄文時代赤彩装身具の顔料同定 ○上峯篤史 (京都大学)、小泉翔太 (京都大学大学院)、井ノ上佳美 (御所市教育委員会)
P-37	中世の大陸伝来漆器と列島内製作漆器に用いられた下地調整技法に関する比較分析 武田昭子 (昭和女子大学)、赤沼英男 (岩手県立博物館)、土谷信高 (岩手大学)
P-38	ロシア沿海地方と北海道内遺跡出土ガラス玉の制作技法及び材質の変遷 ○高橋美鈴 (様似町教育委員会)、田村朋美 (奈良文化財研究所)
P-39	千駄ヶ谷五丁目遺跡出土近代ガラス製品の材質分析(2) — ICP-AES による定量分析 — ○新免歳靖 (東京学芸大学)、向井 互 (金沢大学)、井上暁子 (東海大学)、齊藤晴子 (町田市立博物館)、粕谷 崇 (渋谷区教育委員会)、二宮修治 (東京学芸大学)
P-40	寺院跡から出土した施釉瓦・磚胎土の化学的特徴 ○降幡順子 (奈良文化財研究所)、今井晃樹 (同)、中川二美 (同)
P-41	大分県国東半島における修正鬼会面の彩色材料について ○稗田優生 (大分県立歴史博物館)、松本景子 (国東市教育委員会文化財課)、神崎哲也 (同)

材質・技法	P-42	布留遺跡出土ガラス製勾玉の流通に関する研究 ○村串まどか (東京理科大学)、和泉亜理紗 (同)、阿部善也 (同)、中井 泉 (同)、日野 宏 (天理大学付属天理参考館)、巽 善信 (同)
	P-43	奈良県内の近世建築に使われたカツラについて 藤井裕之 (奈良文化財研究所)
	P-44	韓半島鉄製錬スラグの成分組成に伴う微細組織の特徴の研究 Cho Hea Wean, Oh Min Jee, Bae Chae Rin, Cho Hyun Kyung, Cho Nam Chul (Kongju National University)
	P-45	古墳時代中期短甲に係る革綴技法の概念 ○大江克己 (奈良国立博物館)、中尾真梨子 (福島県文化振興財団)、西山要一 (奈良大学名誉教授)、続伸一郎 (堺市博物館)、清水早織 (京都府埋蔵文化財調査研究センター)
	P-46	岩手県盛岡市萩内遺跡出土漆櫛の材質・技法研究 ○片岡太郎 (弘前大学人文学部北日本考古学研究センター)、上條信彦 (同)、佐藤信輔 (東北大学大学院文学研究科)、佐々木理 (東北大学総合学術博物館)
	P-47	古代・中世における木製横櫛の製作工程—民俗学的研究— ○岡田麻衣子 (立命館大学大学院)
	P-48	鼓の用材樹種について IV X線CTスキャンを用いた検討 ○横山操 (京都大学)、大河内隆之 (奈良文化財研究所)、伊東隆夫 (奈良文化財研究所)
	P-49	X線と中性子を用いた非破壊分析による佐賀城天守台跡より出土した和釘の材質並びに製造技法の解明 ○田中眞奈子 (東京藝術大学)、塩田佳徳 (名古屋大学)、鬼柳善明 (同)
	P-50	奈良県唐古遺跡出土木製品の樹種再同定と木取りの調査 ○村上由美子 (京都大学総合博物館)、能城修一 (森林総合研究所)
	P-51	トチノキのあく抜きに関する事例 ○金原裕美子 (文化財科学研究センター)、金原正明 (奈良教育大学)
P-52	レバノン共和国ティール遺跡の骨骨に残存するコラーゲンの質量分析によるアミノ酸配列解析 荻野茉央 (奈良女子大学)、西山要一 (奈良大学)、○中沢 隆 (奈良女子大学)	
P-53	三次元形状計測を用いた加茂岩倉遺跡の同範銅鐸 (24・38・39号鐸) の検討 ○北井利幸 (奈良県立橿原考古学研究所附属博物館)、水野敏典 (奈良県立橿原考古学研究所)、奥山誠義 (奈良県立橿原考古学研究所)、柳田明進 (奈良県立橿原考古学研究所)、増田浩太 (鳥根県埋蔵文化財調査センター)	
産地	P-54	トルコ、カマン・カレホック遺跡出土のろくろ製土器の重鉱物組成と化学組成による産地推定 ○高橋友里恵 (東京理科大学)、関本敦久 (同)、中井 泉 (同)、松村公仁 (アナトリ考古学研究所)、大村幸弘 (同)
	P-55	“在地土器”の製作者：渡来人集落における朝鮮半島系土器と在地系土器の関係 ○石田智子 (鹿児島大学)、足立達朗 (九州大学アジア埋蔵文化財研究センター)、田尻義了 (同)、小山内康人 (九州大学大学院比較社会文化研究院)、小澤佳憲 (九州歴史資料館)
	P-56	鳥取県青谷上寺地遺跡出土琥珀の産地推定 ○植田直見 (元興寺文化財研究所)、水村直人 (鳥取県教育文化財団)、渡邊緩子 (日鉄住金テクノロジー株式会社)
	P-57	纏向遺跡出土の石製装身具の産地同定 ○藁科哲男 (遺物材料研究所)、中村大介 (埼玉大学)、福辻淳 (桜井市教育委員会)
	P-58	横浜市内諸遺跡出土黒曜石資料の産地分析—縄文時代中期末から後期初頭の事例— ○濱田翠 (東京文化財研究所)、新免歳靖 (東京学芸大学)、建石徹 (文化庁)、二宮修治 (東京学芸大学)
	P-59	イオウ同位体比分析からみた出雲・石見地域における朱の特色 ○上山晶子 (鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター)、南武志 (近畿大学)、今津節生 (九州国立博物館)
	P-60	イオウ同位体比分析によるアスファルトの原産地推定の試み ○上條信彦 (弘前大学)、南武志 (近畿大学)、高橋和也 (理化学研究所)
	P-61	肉眼観察による縄文時代のチャート製石器の産地推定—京都盆地周辺の丹波帯の踏査をもとに— 高木康裕 (京都大学大学院)
P-62	ハンドヘルド蛍光X線分析装置による隠岐・九州地方黒曜岩の原産地推定 ○上峯篤史 (京都大学)、朝井琢也 (同志社大学大学院)、L. ドレイク、LEE DRAKE、竹原弘展 (パレオ・ラボ)	

産地	P-63	金山産サヌカイトの化学組成の多様性は地質学的に説明できるか？ ○上峯篤史 (京都大学)、朝井琢也 (同志社大学大学院)、渡邊貴亮 (関西大学大学院)、竹原弘展 (パレオ・ラボ)
	P-64	小豆島・大坂城石垣石切丁場跡残石の帯磁率調査と京阪神域石造文化財の産地推定 ○津村宏臣 (同志社大学)、岸田徹 (同)、辰己拓郎 (同)
保存科学	P-65	出土木製品保存処理の省コスト・省エネルギー化に向けた研究 (その3) ートレハロース含浸処理法における含浸手法の検討ー ○伊藤幸司 (公益財団法人大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)、藤田浩明 (同)、今津節生 (奈良大学)
	P-66	虎塚古墳の破片を用いた赤色顔料の分析調査 ○李 素妍 (鳥取大学)、稲田健一 (ひたちなか市埋蔵文化財調査センター)
	P-67	熊本県玉名市内の装飾古墳保護施設と石室内温度状況 ○末永 崇 (玉名市教育委員会文化課)、田中康雄 (同)
	P-68	人工劣化による疑似出土木材の調製 1 ○山口繁生 (公益財団法人元興寺文化財研究所)
	P-69	特別史跡平城宮跡朱雀門の塗装劣化の特徴について ○長崎紀子 (京都大学大学院)、脇谷 草一郎 (奈良文化財研究所)、高妻 洋成 (奈良文化財研究所)
	P-70	文化財保存修復に用いられる Paraloid™ B-72 と溶媒の相互作用に関する研究 ○岡本駿 (明治大学大学院)、早川典子 (東京文化財研究所)、本多貴之 (明治大学)
	P-71	カッパドキア岩窟教会外壁の劣化抑制に関する研究ー現地の環境計測による劣化要因の推定 吉岡瑞穂 (京都大学)、○伊庭千恵美 (同)、谷口陽子 (筑波大学)、小泉圭吾 (大阪大学)、渡辺晋生 (三重大学)、朴春澤 (ハイテック(株)、佐野勝彦 (株)ディアンドディ)
	P-72	屋外文化財への適用を目的とした撥水剤処理された建築材料の曝露試験 福井一真 (京都大学)、○伊庭千恵美 (同)、吉岡瑞穂 (同)、鈴木修一 (同)
	P-73	美術品輸送車両上で発生する振動周波数の解析 和田浩 (東京国立博物館)
	P-74	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡における劣化対応の経過報告 ○藤田若菜 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館)、川越光洋 (同)、石崎武志 (東北芸術工科大学)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)、山本博文 (福井大学)
	P-75	美術品収蔵庫における収蔵物の劣化防止に関する研究ーCFD 解析による冬期のカビ発生防止対策の検討ー 藤原良輔 (京都大学)、○小椋大輔 (同)
	P-76	元町石仏の保存に関する研究ー熱水分移動の数値解析による石仏各部における塩類風化の進行の検討ー 高取伸光 (京都大学)、○小椋大輔 (同)、脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)、安福勝 (近畿大学)、桐山京子 (京都大学)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)
	P-77	交流インピーダンス法を用いた埋蔵環境下における金属製遺物の腐食速度に関する検討 ○柳田明進 (奈良県立橿原考古学研究所)、脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)
	P-78	石造文化遺産の着生地衣類が生成する石材溶解成分の分布に関する研究 ○河崎衣美 (筑波大学)、松井敏也 (同)
	P-79	鷹島海底遺跡出土遺物の現状について 合澤哲郎 (松浦市立鷹島埋蔵文化財センター)
	P-80	砂岩製文化財の劣化に及ぼす環境因子の影響ー七本官軍墓地下浦砂岩製墓石を例としてー ○杜 之岩 (京都大学大学院人間・環境学研究科)、脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)
P-81	出土青銅製文化財の保存処理に使用されたアクリル樹脂の劣化について (2) ○山田卓司 (元興寺文化財研究所)、川本耕三 (同)、山口繁生 (同)、塚本敏夫 (同)、田中由理 (同)、植田直見 (同)	
P-82	照明光源による彩色試片の加速老化試験 ○姜大一 (韓国傳統文化大學校) ほか	
文化財科学 一般	P-83	16 - 18 世紀のヨーロッパ刊本に用いられた中国の紙 ○江南和幸 (東洋文庫研究員・龍谷大学名誉教授)、岡田至弘 (龍谷大学古典籍デジタルアーカイブ研究センター)、石塚晴通 (東洋文庫研究員・北海道大学名誉教授)、徐小潔 (東洋文庫)、篠崎陽子 (東洋文庫)、山村義照 (東洋文庫)

P-84	長野市宮崎遺跡出土成人骨と乳児骨の同位体分析 ○日下宗一郎 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)、藤澤珠織 (青森中央学院大学)、矢野健一 (立命館大学)
P-85	岡崎市日吉山王社山王神像の自然科学的調査 ○青木智史 (奈良教育大学)、大山明彦 (同)、小山聖 (同)、馬場翔子 (同)、荻山琴美 (同)、木曾はづき (同)、近藤真世 (同)、山岸公基 (同)
P-86	狭帯域 LED 光源を用いた偏光撮影による彩色材料光学情報の可視化 ○末森薫 (国立民族学博物館)、園田直子 (国立民族学博物館)、日高真吾 (国立民族学博物館)、和高智美 (合同会社文化創造巧芸)、河村友佳子 (元興寺文化財研究所)、橋本沙知 (元興寺文化財研究所)
P-87	Reflectance Transformation Imaging (RTI) の精度に与える撮影条件の検討 小野慎之介 (東洋美術学校)、水落貴志 (東洋美術学校)、○松田泰典 (東洋美術学校)
P-88	デジタルカメラで撮影した近紫外線励起蛍光画像の補正方法の検討 水落貴志 (東洋美術学校)、小野慎之介 (東洋美術学校)、○松田泰典 (東洋美術学校)
P-89	ハギア・ソフィア大聖堂内壁修復に伴う壁材および修復史の調査 - 北ティンパヌムを例に - ○佐々木淑美 (関西大学国際文化財・文化研究センター、東北芸術工科大学)、小椋大輔 (京都大学)、安福勝 (近畿大学)、水谷悦子 (京都大学)、石崎武志 (東北芸術工科大学)
P-90	埋没時代や状況の異なる遺跡から採集したプラントオパールからの DNA 復元 ○田中克典 (弘前大学人文学部)、丹羽里菜 (宮崎大学農学部)、宇田津徹朗 (宮崎大学農学部)
P-91	装飾古墳の石室環境と公開時期の決定について - 佐賀県鳥栖市所在田代太田古墳の場合 - ○福田匡朗 (熊本県立装飾古墳館)、大庭敏男 (鳥栖市教育委員会)、坂口圭太郎 (熊本県立装飾古墳館)、小椋大輔 (京都大学)
P-92	蛍光 X 線分析による北海道出土古代ガラスビーズの起源と流通についての考察 ○今井藍子 1, 柳瀬和也 1, 馬場慎介 1, 中井泉 1, 中村和之 2, 小川康和 3, 越田賢一郎 4 (1: 東京理科大学・理学部 2: 函館工業高等専門学校 3: 余市町教育委員会 4: 札幌国際大学・人文学部)
P-93	三次元計測技術を用いたレプリカ製作 - 大英博物館ゴードンコレクションを例に - ○岡本篤志 (大手前大学史学研究所)、増田啓 (増田文物工作隊)
P-94	蛍光 X 線分析によるアイヌ玉の化学組成的特徴と流通の考察 馬場慎介 (東京理科大学理学部)、柳瀬和也 (東京理科大学理学部)、今井藍子 (東京理科大学理学部)、中井泉 (東京理科大学理学部)、中村和之 (函館工業高等専門学校)、小川康和 (余市町教育委員会)、越田賢一郎 (札幌国際大学人文学部)
P-95	藤布の物理的強度に関する研究 ○仙波壽朗 (飯田女子短期大学)、青木千恵美 (同)
P-96	同一土器内における残留有機物質の分布から見える分析結果の解釈の注意 ○堀内晶子 (国際基督教大学)、宮田佳樹 (金沢大学)
P-97	歴史資料に使用された彩色材料の調査研究 ○秋山純子 (九州国立博物館)、三好賢子 (香川県立ミュージアム)、高木敬子 (香川県立ミュージアム)、一瀬智 (九州国立博物館)、森實久美子 (九州国立博物館)
P-98	考古学、環境科学への磁化研究の応用 ○川崎一雄 (富山大学)、菅頭明日香 (同)、泉吉紀 (同)、酒井英男 (同)
P-99	平等院阿彌陀堂遺構材の調査 1 用材樹種について ○横山操 (京都大学)、伊東隆夫 (奈良文化財研究所)、坂本稔 (国立歴史民俗博物館)、光谷拓実 (奈良文化財研究所)、渡邊晶 (建築技術史研究所)、鳴海祥博、太田亜希、田中正流、神居文彰 (宗教法人平等院)
P-100	宋版經典用紙の分析 ○坂本昭二 (龍谷大学)
P-101	三千本膠の比較と活用 ○勝川若奈 (奈良大学)
P-102	マイクロ X 線 CT による非破壊内部構造調査 金旻貞 (九州国立博物館)
P-103	ロシア沿海地方出土古代ガラスのオンサイト分析による考古化学的研究 ○中井泉 (東京理科大学)、今井藍子 (同)、馬場慎介 (同)、柳瀬和也 (同)、S. ラブチェフ (MIHO MUSEUM)、中村和之 (函館工業高等専門学校)、小嶋芳孝 (金沢学院大学)、中村晋也 (同)、竹森杏奈 (宝達志水町教育委員会)、田村朋美 (奈良文化財研究所)、高橋美鈴 (様似町教育委員会)、Y.G. ニキーチン (ロシア科学アカデミー極東支部)、N.G. アルテムエヴァ (同)、小口雅史 (法政大学)
P-104	関東地域における縄文時代の漁撈域・狩猟域 - 炭素・窒素およびストロンチウム同位体分析による検討 - ○菊地大樹 (京都大学)、覚張隆史 (金沢大学)、劉呆運 (陝西省考古研究院)、曹龍 (同)

文化財科学一般	P-105	中国古代における馬匹生産体制の動物考古学的研究 - 関中盆地を中心に - ○浦蓉子 (奈良文化財研究所)、星野安治 (同)
	P-106	年輪年代学的手法を用いた木器の接合検討—出土木器研究の新展開— ○浦蓉子 (奈良文化財研究所)、星野安治 (同)
	P-107	三次元データの利用を考える—島内 139 号地下式横穴墓出土状況の計測成果より ○金田明大 (奈文研)、橋本達也 (鹿児島大学)、中野和浩 (えびの市教育委員会)、東憲章 (西都原考古学博物館)、 ナワビ矢麻 (早稲田大学大学院)
	P-108	陸標・天体配置と古代遺跡定位の景観考古学的研究～京都盆地北部、物集女車塚古墳・長岡京跡を例に～ 中塚良 (向日市埋蔵文化財センター)
	P-109	GIS 解析による新潟県内の地震跡遺跡の空間分布特性 中埜貴元 (国土地理院)、○酒井英男 (富山大学)、加藤学 (新潟県埋蔵文化財調査事業団)、泉吉紀 (富山大学)
	P-110	山口県岩国市中津居館跡出土銭甕の取り上げ・保存処理・展示活用 ○初村武寛 (元興寺文化財研究所)、塚本敏夫 (同)、下野聖 (同)、岡田一郎 (同)、松井義昭 (同)、神崎前 (岩国市教育委員会)
	P-111	多焦点画像処理による歴史芸術文化資料の詳細記録 山口欧志 (衣笠総合研究機構)
	P-112	重要文化的景観に関する住民意識調査 - 文化的景観の実像 - ○津村宏臣 (同志社大学)、須齊史也 (同)
	P-113	原の辻遺跡出土「漆塗り木製品」の三次元計測を用いた復元 ○片多雅樹 (長崎県埋蔵文化財センター)、今西亮太 (同)、古澤義久 (同)
探査	P-114	磁気探査によるエジプト共和国コマルディバー遺跡の研究 ○岸田 徹 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)、津村宏臣 (同)、長谷川 奏 (早稲田大学総合研究機構)
	P-115	扶余で無量寺の五層石塔の精密安全診断と毀損特性 朴敏録 (韓国傳統文化大學校 保存科學研究所)、南宮勳 (韓国傳統文化大學校 保存科學研究所)、 鄭光龍 (韓国傳統文化大學校 保存科學研究所)
	P-116	小豆島水ノ子礁における海底遺跡地形測量調査と潜水調査 ○津村宏臣 (同志社大学)、池田克彦 (AGS 株)、渡邊康司 (AGS 株)、関勝 (関海事工業所)、川宿田好見 (同志社大学)
	P-117	京都府城陽市久津川車塚古墳における物理探査 ○岸田徹 (天理大学)、小田木治太郎 (同)、桑原久男 (同)、橋本英将 (同)、岩元亮祐 (同)、岸本直文 (大阪市立大学)、 長友朋子 (大阪大谷大学)、小泉裕司 (城陽市教育委員会)
	P-118	地中レーダによる特別天然記念物・魚津埋没林の研究 ○泉吉紀 (富山大学)、酒井英男 (富山大学)、卜部厚志 (新潟大学)、麻柄一志 (魚津埋没林博物館)、石須秀和 (魚津埋没林博物館)
文化財防災	P-119	『島原大変肥後迷惑』1792 (寛政 4 年) の大津波による被害—熊本県内に残る津波碑の悉皆調査— ○坂口圭太郎 (熊本県立装飾古墳館)、美濃口雅朗 (熊本城調査センター)、松本博幸 (天草市文化課)、 川島秀一 (東北大学災害国際研究所)
	P-120	津波被災紙資料から発生する臭気の同定とその対策 ○佐野千絵 (東京文化財研究所)、内田優花 (同)
	P-121	岩手県津波被災紙資料の表面清浄度調査方法の検討 ○内田優花 (東京文化財研究所)、佐野千絵 (同)
	P-122	熊本地震文化財被害速報 日本文化財科学会 文化財防災特別委員会